

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成19年6月14日(2007.6.14)

【公開番号】特開2004-321818(P2004-321818A)

【公開日】平成16年11月18日(2004.11.18)

【年通号数】公開・登録公報2004-045

【出願番号】特願2004-133902(P2004-133902)

【国際特許分類】

A 6 1 B 17/34 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 17/34

【手続補正書】

【提出日】平成19年4月26日(2007.4.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

組織に対して手技を行う装置において、

本体であって、前記本体を貫通して延びるルーメン、および前記本体の遠位端部に位置する開口端部、を有する、本体、

を備え、

前記本体は、

(i) 前記遠位端部に設けられていて、前記組織上の損傷パターンを突き止める、少なくとも1つの電極、および

(ii) 前記遠位端部に設けられていて、前記本体の前記遠位端部のロケーションを表す信号を発生する、位置センサ、

をさらに有する、

装置。

【請求項2】

請求項1に記載の装置において、

前記本体の前記遠位端部のロケーションを表す前記信号は、ロケーション座標を決定するため用いられる、装置。

【請求項3】

請求項2に記載の装置において、

前記ロケーション座標は、位置座標を含む、装置。

【請求項4】

請求項3に記載の装置において、

前記ロケーション座標は、向き座標を更に含む、装置。

【請求項5】

請求項1～4のいずれかに記載の装置において、

前記少なくとも1つの電極は、先端部電極を含む、装置。

【請求項6】

請求項5に記載の装置において、

前記先端部電極は、円周方向先端部電極である、装置。

【請求項7】

請求項 1 ~ 6 のいずれかに記載の装置において、

前記少なくとも 1 つの電極は、複数の電極セグメントを含む、装置。

【請求項 8】

請求項 7 に記載の装置において、

前記複数の電極セグメントは、2 つの電極セグメントを含む、装置。

【請求項 9】

請求項 7 に記載の装置において、

前記複数の電極セグメントは、4 つの電極セグメントを含む、装置。

【請求項 10】

請求項 2 ~ 9 のいずれかに記載の装置において、

前記少なくとも 1 つの電極は、第 1 の電極、および第 2 の電極を含む、装置。